



**ICT活用有害鳥獣捕獲モデル事業
「鳥獣対策学習会」
～ モデル地区農家様むけ実証実験説明 ～**

令和2年7月19日、20日

◆鳥獣対策における、円滑な獣捕獲から処理施設搬入となるしくみを実証実験します。

やること

生息数を削減するため成獣を狙い**捕獲**します

わなの画像等を狩猟者に自動**通知**します。

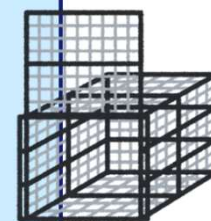
狩猟者から**処理施設**への**受入れ調整連絡**をします

円滑な連携



しくみ

箱わなセンサー



自動撮影カメラ
捕獲通知無線



スマホでのメッセージやり取りアプリ





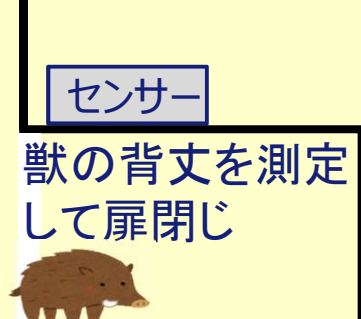
実証に使用する個別のしくみ

◆実証に①②③を使用します。

①


箱わな・通知無線

センサー
獣の背丈を測定して扉閉じ



成獣を狙って捕獲

無線 捕獲通知



②

自動撮影カメラ

カメラで検知した捕獲獣を撮影して画像を通知



撮影した画像は三次ジビエPRに活用する場合があります。ご了承ください。

③

メッセージアプリ

捕獲～搬入の情報連携により円滑な受け渡し支援

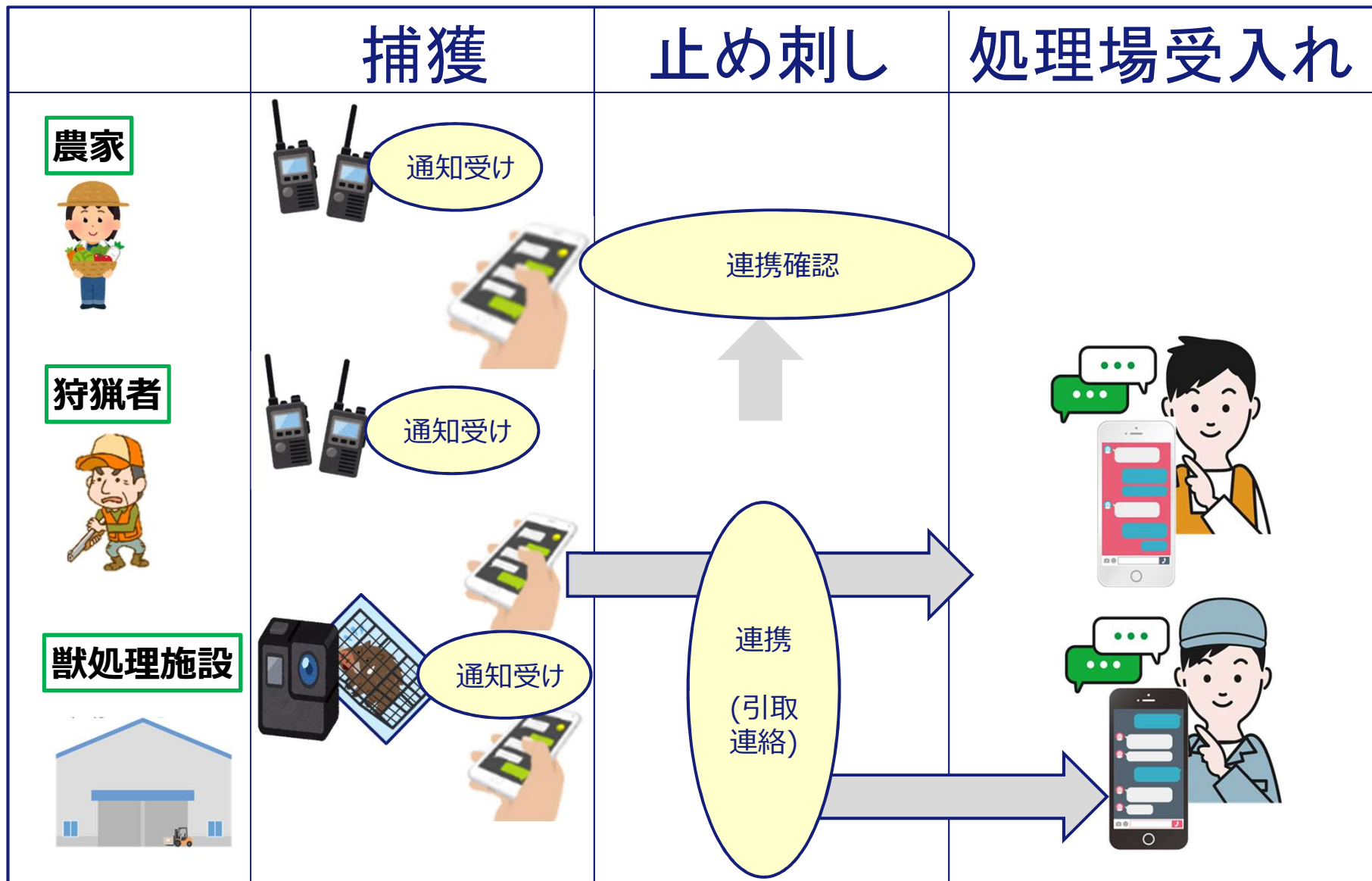
狩猟者 獣処理施設

引取連絡



農家・狩猟者・獣処理施設の役割分担

◆ご協力をお願いいたします。



農家さまの役割

◆ 以下の実証にご協力をお願いします。



農家さま

- 三次市狩猟者による田畑への箱わな設置にご理解ください。
- ※ 箱わなへ異常が見られた際はエネコムにご連絡ください。
- 日頃の餌付けのご協力もお願いいたします。



○ 捕獲時に無線の通知で確認できます。



○ 捕獲後の止め刺しに来る狩猟者と引取る処理施設間のメッセージやり取りをスマホで確認できます。

狩猟者さまの役割

◆ 以下の実証にご協力をお願いします。



狩猟者さま

○ 捕獲時に無線の通知で確認できます。

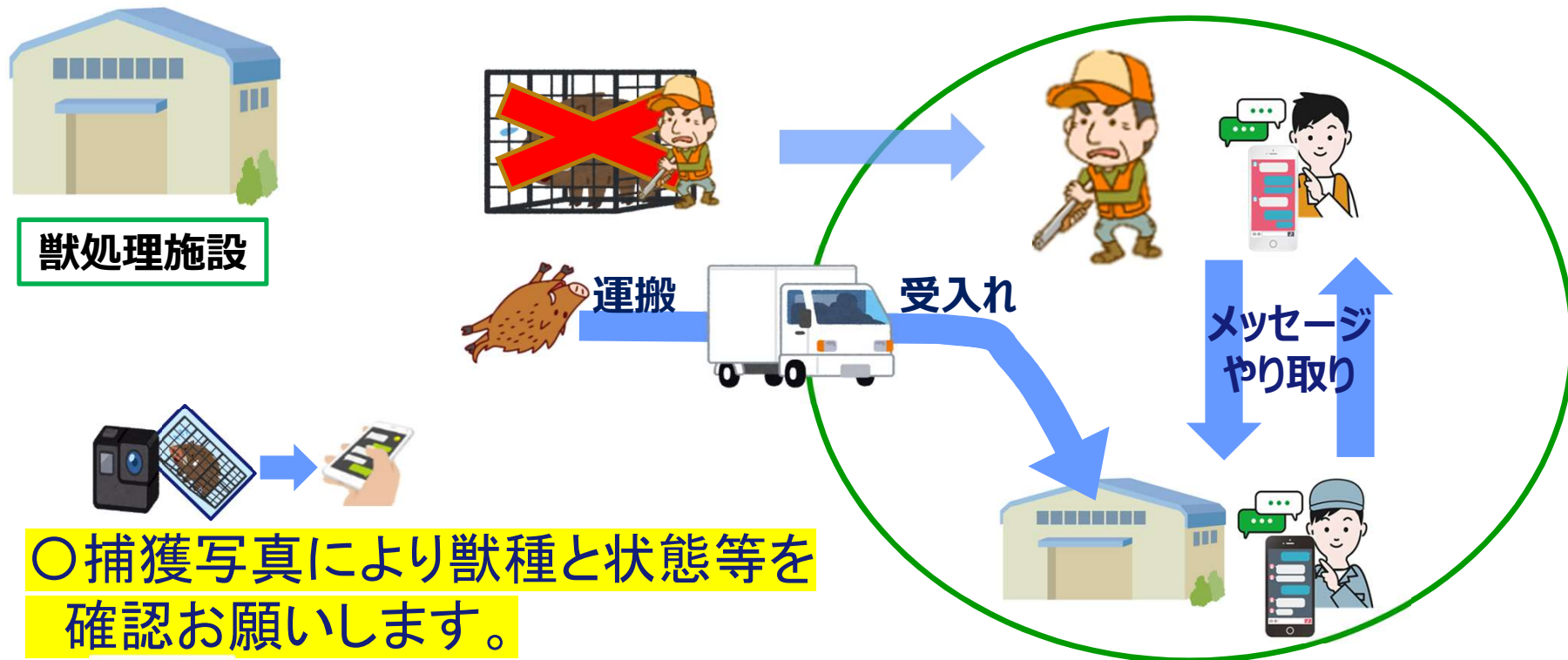


○ 捕獲写真により獣種と状態等を確認できます。

○ 止め刺し出動と引取り処理場とのメッセージやり取りをお願いします。止め差しでは即時血抜きをお願いいたします。

獣処理施設とのやり取りについて

◆ 以下の実証にご協力をお願いします。



○ 止め刺し出動する際は、獣処理施設と受入れについてメッセージやり取りをお願いします。

○ 施設の繁忙や獣状態等により即時対応が難しい場合がございます。